

数学総合演習		講師 竹内 芳衛	
科目カテゴリ	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200122

1. 授業のねらい・概要

数理的な方法が必要な授業科目を履修するための準備として、高校数学のいくつかの分野の復習をしつつ、基礎的な数学の知識を学ぶ。

2. 授業の進め方

演習形式

3. 授業計画

1. 数と式	9. 式と不等式
2. 複素数と高次方程式	10. 指数と対数
3. 図形と計量	11. 図形と方程式
4. 数列	12. 軌跡
5. 整数の性質	13. ベクトル
6. 式と証明	14. 図形の性質
7. 数学的帰納法	15. 三角関数
8. 集合と論理	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書の該当する部分に目を通しておくこと（各回1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

標準解答若しくは解説を提示し、又は本人解答を返却する。

6. 授業における学修の到達目標

1. 教科書にある数学の知識が理解できるようになる。
2. 教科書にある数学の問題が解けるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の点数（80～100％）と平素の活動状況（0～20％）で評価する。

8. テキスト・参考文献

実用数学技能検定記述式演習帳2級. 公益財団法人日本数学検定協会, 丸善出版（発売）, 2018.

9. 受講上の留意事項

履修者の学修時間が「学則が規定する学修時間（2単位90時間）の三分の二（60時間）に満たない」と科目担当者が判断した場合には、「本科目を履修した」といえないので、定期試験を受けられない。

出席1回について、学修時間は6時間（授業での学修が2時間、授業外の学修が4時間）を算入する。

欠席の場合、授業での学修は0時間であるが、「証明書等を完備した欠席届が、欠席後最初の授業出席時までに提出された場合」に限り、授業外の学修は2時間または4時間（時間数は欠席理由等で変わる）を算入する。

遅刻・早退の場合、授業での学修は0時間または1時間として算入することがある。